

さつまいろ
さつま町の観光・自然に
関するPR動画はコチラ!



特集 #2

名湯の郷が、二つある。

鹿児島にありながら冬の寒さも厳しく、古くから温泉が親しまれてきたさつま町。家族風呂や露天風呂など、個性的な施設が集まる温泉郷が町内に2か所も存在し、多様な温泉文化が根付いています。どちらも肌がすべすべになると評判の美人の湯。仕事帰りや休日に気軽に立ち寄れる、町民たちの憩いの場となっています。



宮之城温泉

泉質
硫黄泉

文政年間(1818~1830年)に発見されて以来湯治場として栄え、昭和7年までは「湯田温泉」と呼ばれていました。川内川中流域に温泉旅館・温泉施設があり、温泉街が形成されています。温泉街に祀られている湯之神社は、川の氾濫によって薬師如来像がこの地に流れ着いたことで創建されたと伝えられています。



紫尾温泉

泉質
硫黄泉

紫尾山麓の丘陵に囲まれた静かな紫尾温泉郷。上之湯と下之湯に分かれており、紫尾神社の拝殿下から源泉が湧き出す上之湯は「神の湯」とも呼ばれ、最近パワースポットとしても有名。薩摩藩が編さんした「三国名勝図会」にも記載され古くから愛されてきた湯は、現在でも新日本百名湯に選ばれ、県内外問わずリピーターが足を運んでいます。



湯田区営温泉

区民70円、区民以外でも150円で癒やしの湯を堪能できる。宮之城湯田温泉唯一の公衆浴場。



湯之神社

二度もこの地に流れ着いた薬師如来像が御神体。参拝前には温泉水の手水でお清めを。



みやんじょ温泉竹ホテル

川内川流域のホテル再生を願うイベント(12月に開催)。温泉街の約1kmの道沿いに7,000本もの竹灯籠の明かりが灯ります。



足湯

紫尾神社拝殿下から湧き出る湯を気軽に楽しめる「神の湯」の隣りにある足湯。浴槽の底には玉石が敷かれ、足裏に心地よい刺激を与えてくれます。



紫尾神社

1500年ほど前、空覚上人が紫雲たなびく霊夢を見て創建し、鎌倉時代には源実朝が神鏡三面を奉納したと伝えられています。お告げによって山ヶ野金山、永野金山が発見されたとの伝説も。



紫尾温泉まつり

紫尾地区で11月に開催されるお祭りでは、地元農林産物の販売やお楽しみ抽選会のほか、紫尾郷土芸能保存会による郷土芸能や、柏原小学校児童による片平棒踊りなどで盛り上がります。



あおし柿

温泉の湯に一晩つけることで渋抜きする「あおし柿」も名物です。その光景は10月~11月に見られます。湯の力で甘くなった柿は、町内の特産品直売所でも販売しています。

さつま町にある

その他の
温泉施設

健康ふれあいセンター

あび〜る館



薩摩薬師温泉



きら温泉

白男川紫陽館



※町内には他にも多くの温泉施設があります。詳しくはP45~46の「さつま町MAP」をご覧ください。